

# 卒業生の就職先に対するアンケート

## 調査結果

(令和7年3月)

尚絅大学・尚絅大学短期大学部

大学企画室

## 目次

調査概要 .....	3
所属学部・学科回答数【質問 3】.....	3
調査結果 .....	4
(1)現代文化学部 .....	4
(2)生活科学部 .....	6
(3)総合生活学科 .....	8
(4)食物栄養学科 .....	10
(5)幼児教育学科 .....	13
調査票 .....	18

## 調査概要

- 調査目的**  
 本学卒業生を採用した事業所を対象に、採用にあたり重視した能力や採用後の本学卒業生の能力を調査することで、本学における教育の質の向上を図るための参考とする。
- 調査対象**  
 令和5年3月に卒業し、就職した344名の本学卒業生を採用いただいた292事業所  
 <事業所ごとの採用人数>  
 1名採用:252社 252名採用、2名採用:32社 64名採用、3名以上採用:6社 18名採用  
 4名採用:1社 4名、6名採用:1社 6名
- 実施時期**  
 令和6年12月下旬～令和7年1月下旬
- 調査方法**  
 人事・採用担当者宛てに調査票を郵送し、郵便(返信用封筒)及びGoogleフォームで回答を受付
- 調査票の回収状況**  
 ・事業所 142/292 事業所(回収率 48.6%)  
 昨年度回収率 55.5%
- 業種内訳【質問1】**

	回答数		回答数
建設業	-	生活関連サービス業、娯楽業	-
製造業	5	医療・福祉	39
電気・ガス・熱供給・水道業	-	教育、学習支援業	4
情報通信業	2	保育園・幼稚園・こども園	66
運輸業、郵便業	-	複合サービス事業	1
卸売業、小売業	15	サービス業	5
金融業、保険業	-	公務	-
不動産業、物品賃貸業	-	その他	1
宿泊業、飲食サービス業	4	回答無し	-
		合計	142

- 従業員規模【質問2】**

	回答数
10人未満	3
10人以上 50人未満	66
50人以上 100人未満	21
100人以上	52
回答無し	0

- 所属学部・学科回答数【質問3】**

	回答数
現代文化学部	10
生活科学部	26
総合生活学科	16
食物栄養学科	30
幼児教育学科	58
無回答	2

## 調査結果

### (1) 現代文化学部

#### ・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	10	100.0%
非正規	-	-
正規及び非正規	-	-
合計	10	100.0%

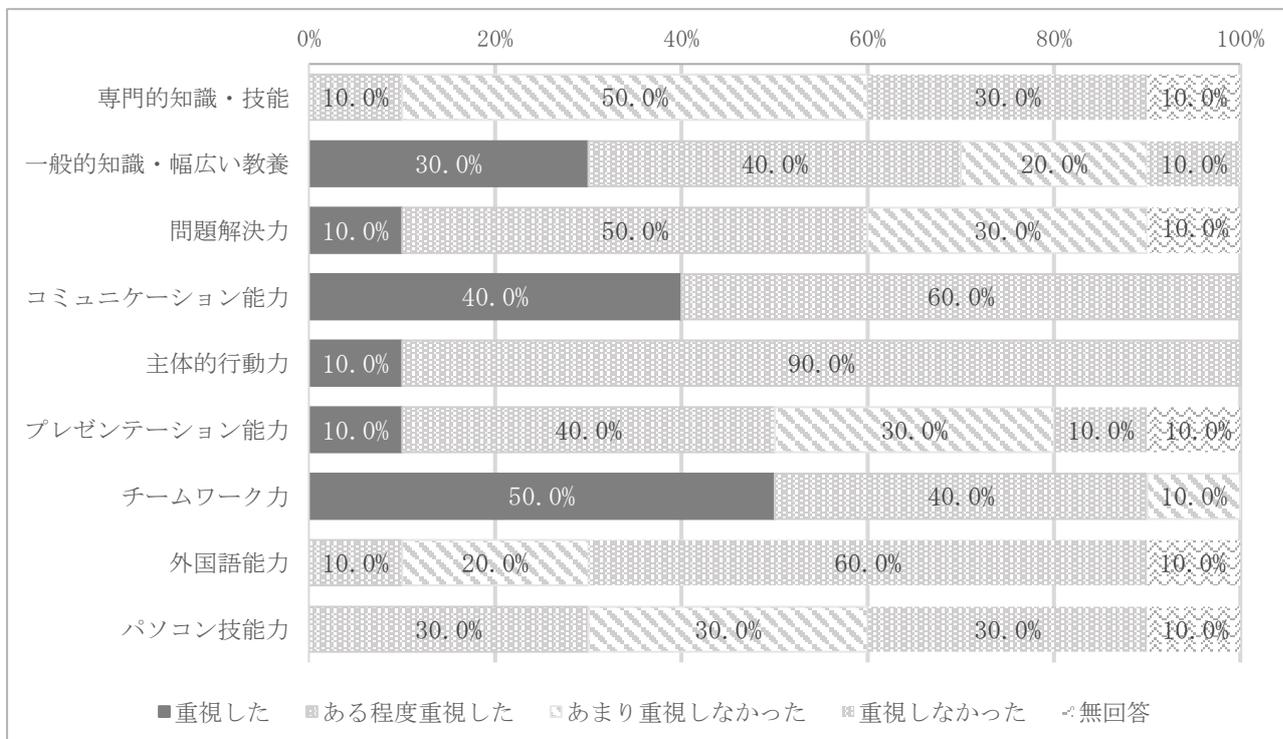
#### ・業種の割合

業種	割合
製造業	10.0%
卸売業、小売業	60.0%
情報通信業	10.0%
医療・福祉	10.0%
教育・学習支援業	10.0%
合計	100.0%

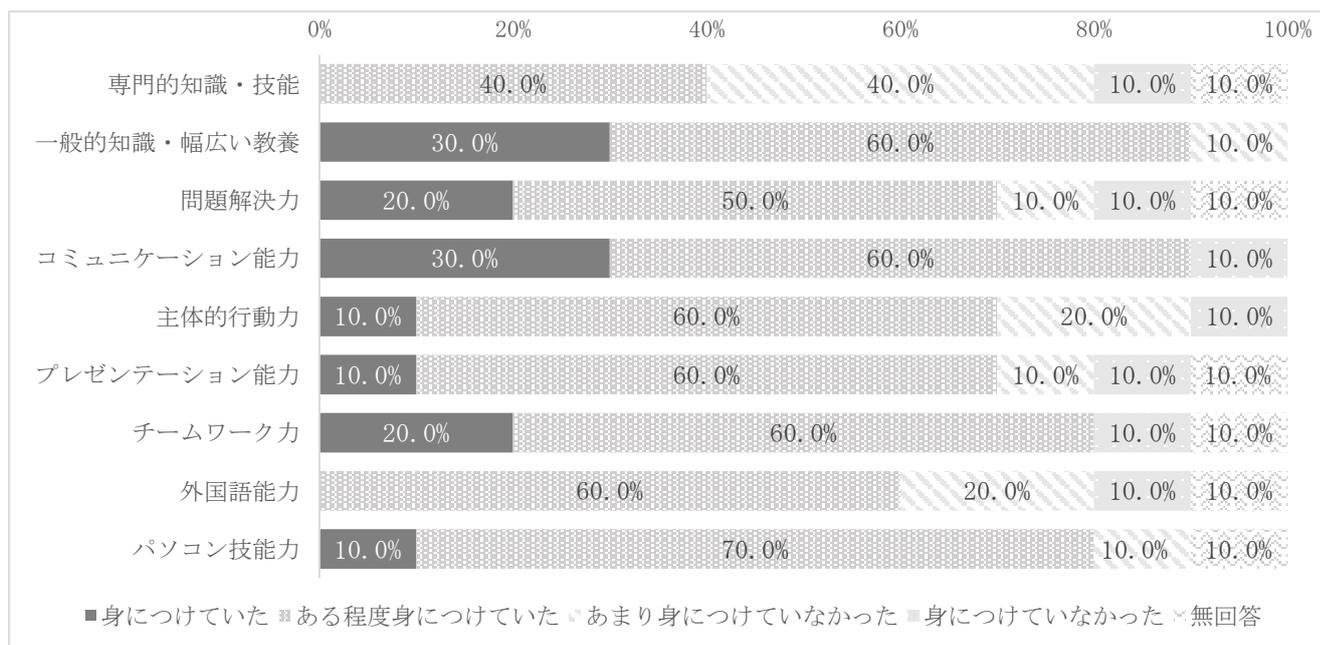
#### ・職種の割合【質問 5】

職種	割合
事務職	40.0%
介護職	10.0%
営業・販売職	40.0%
その他()	10.0%
合計	100.0%

#### 【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか。



〈上記能力を身に付けていたと感ぜられる点〉

- ・チームの中でメンバーと協力して、問題解決に向き合う姿勢が見受けられた。
- ・相手の立場に立ったコミュニケーションをとることができ、周りをよく見て冷静な判断ができると感じた。

〈上記能力を身に付けていないと感ぜられる点〉

記載無し

〈意見・要望〉

- ・できるだけ失敗を恐れず、自信をもって行動する能力。
- ・能力が高く協調性もあるため、より主体的に考え行動に移すことができると、さらに能力を発揮できるのではないかと感じる。
- ・コミュニケーションが上手でなくてもいいので、積極的に質問して、自ら他者と関わり学ぼうとされる方と一緒に切磋琢磨できる環境を作ればと考えている。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## (2)生活科学部

### ・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	18 人	69.3%
非正規	6 人	23.1%
正規及び非正規	1 人	3.8
無回答	1 人	3.8
合計	26 人	100.0%

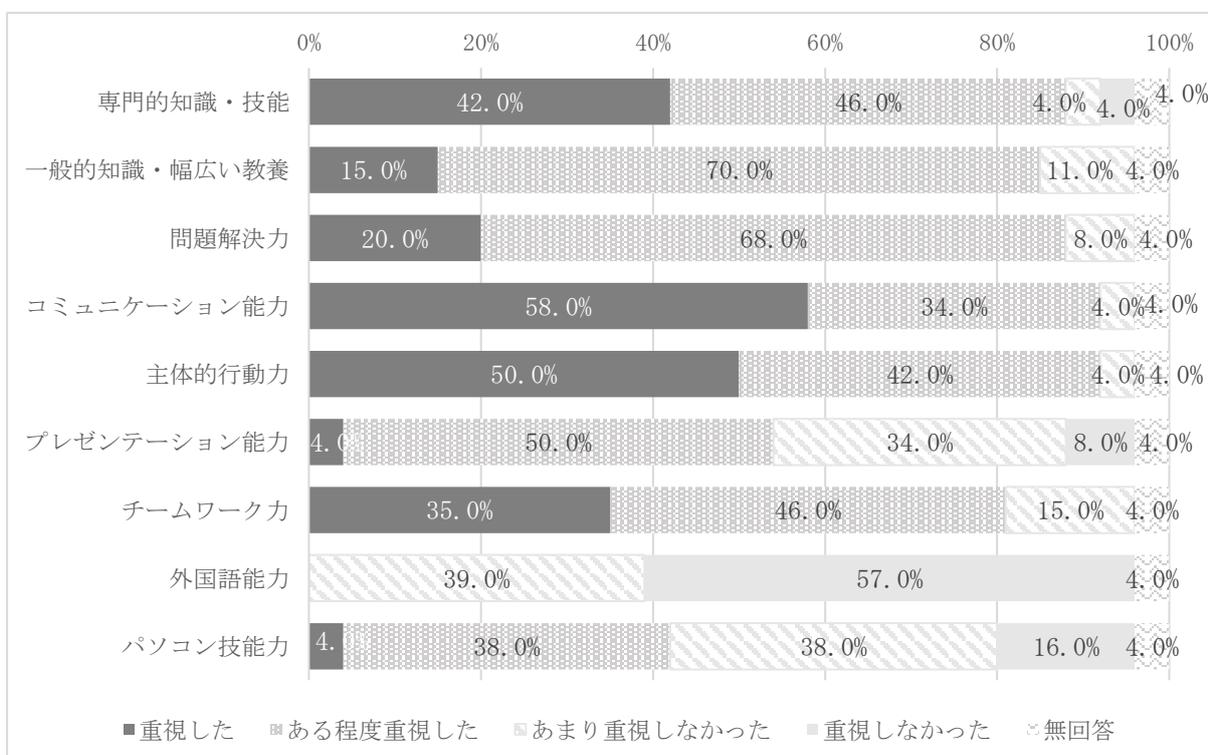
### ・業種の割合

業種	割合
製造業	3.8%
医療・福祉	65.5%
保育園・幼稚園・こども園	7.7%
教育、学習支援業	11.5%
宿泊業、飲食サービス業	3.8
サービス業	7.7%
合計	100.0%

### ・職種の割合【質問 5】

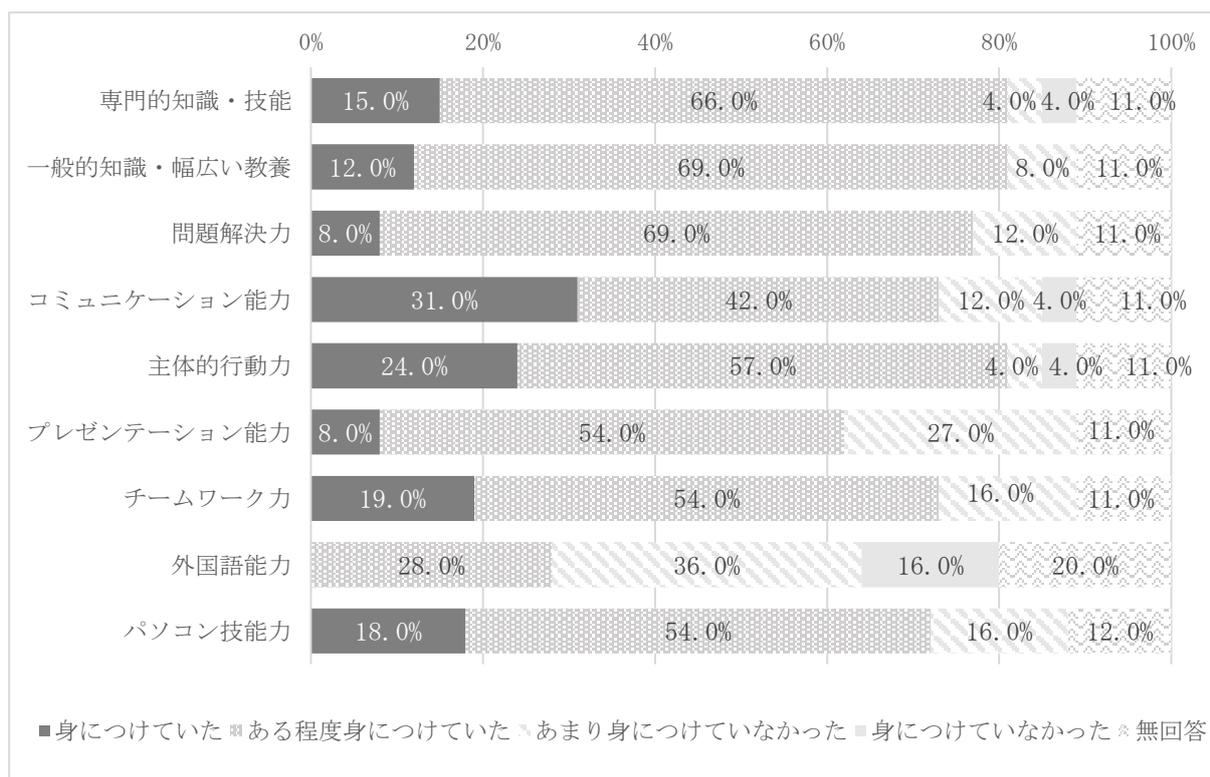
職種	割合
管理栄養士	63.6%
栄養士	15.2%
栄養教諭	12.1%
調理員	3.0
事務職	6.1%
合計	100.0%

【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



その他重視した能力：協調性

【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか



〈上記能力を身に付けていたと感ぜられる点〉

- ・ コミュニケーション力やチーム力はコロナ禍の影響による経験値の差が出ていると思う。  
業務の進捗報告ができない、チームへの予定の共有連絡ができない、相談ができないと感じる場面があった。逆に専門的な知識は自ら高めようとする前向きな姿勢があり、仕事をしながら管理栄養士の資格を取得した。プロジェクトメンバーにも頼りにされている。
- ・ 採用試験において、学科と面接を実施しましたが、学科においては受験者の中でも、最高点であり、面接においても面接官すべてが高評価の意見でした。

〈上記能力を身に付けていないと感ぜられる点〉

- ・ パソコンでの献立のアプリの使い方や、Excel の使い方をもっと身につけておくべきだったと感じた。

〈意見・要望〉

記載無し

### (3) 総合生活学科

#### ・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	16 人	100.0%
非正規	-	-
正規及び非正規	-	-
合計	16 人	100.0%

#### ・業種の割合

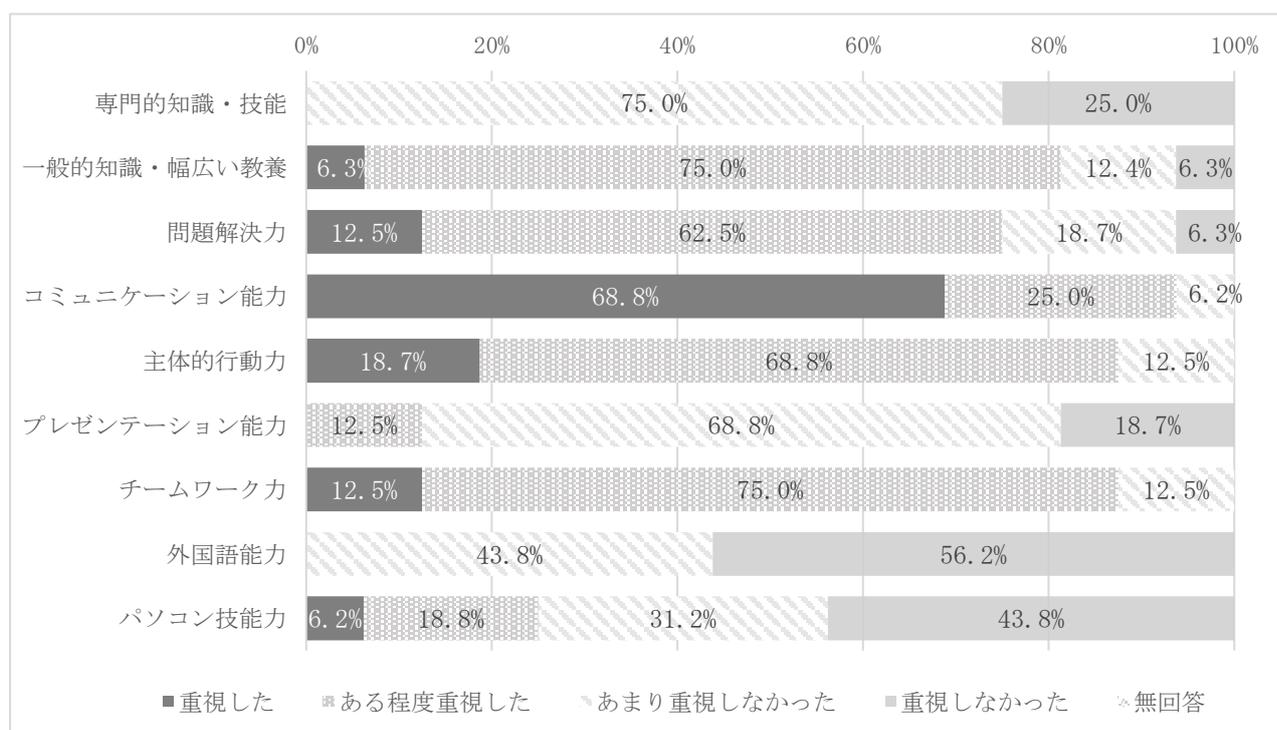
業種	割合
製造業	18.8%
卸売業、小売業	31.4%
情報通信業	6.2%
金融業	6.2%
医療・福祉	12.5%
サービス業	6.2%
宿泊業、サービス業	12.5%
複合サービス事業	6.2%
合計	100.0%

#### ・職種の割合【問 5】

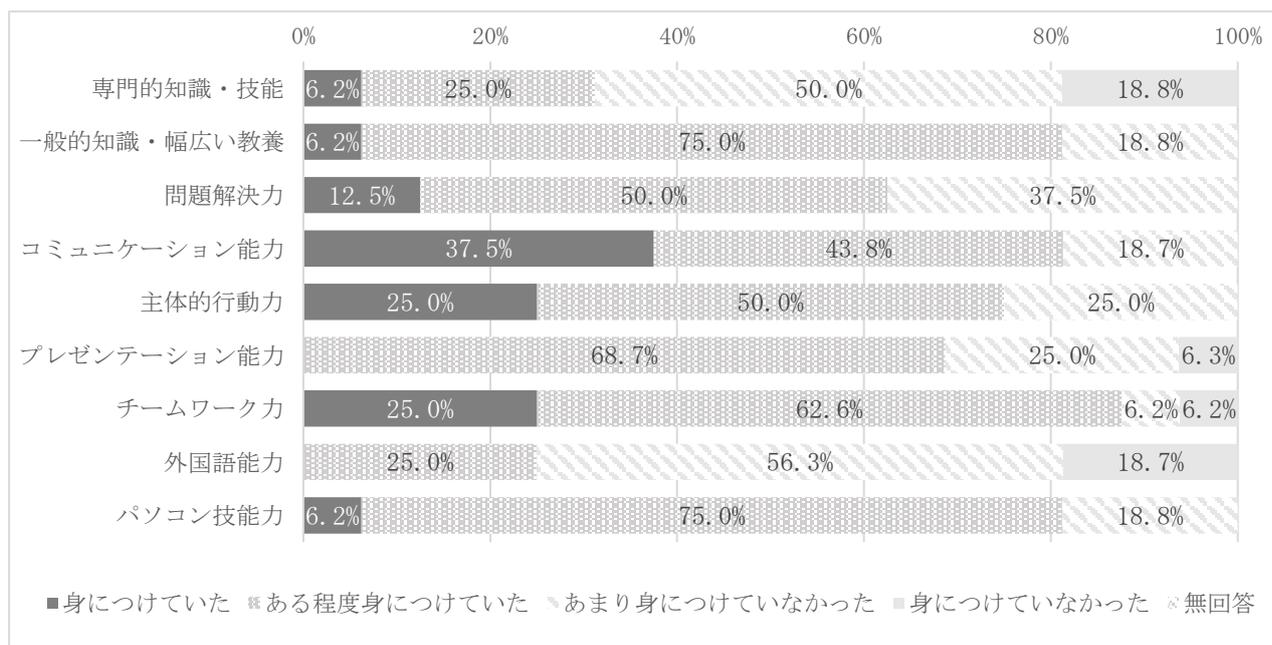
職種	割合
事務職	24.9%
営業・販売職	12.5%
サービス職業従事者	31.3%
その他	31.3%
合計	100.0%

その他の回答:システムエンジニア、品質管理  
エステティシャン

#### 【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか。



〈上記能力を身に付けていたと感ぜられる点〉

- ・就職後習得する専門知識技能
- ・コミュニケーション能力が非常に高く、上司・先輩・同僚職員に対する配慮も申し分なく、お客様に対する接客もよく出来ている。

〈上記能力を身に付けていないと感ぜられる点〉

記載無し

〈意見・要望〉

- ・コミュニケーション能力が高い学生と低い学生では、就職後の業務においても影響があるように見受けられる。そこで、コミュニケーション能力を充実することは非常に重要なものではないかと考えている。ここ数年、弊社を就職先に希望される学生がおられることに感謝している。また、御校の就職支援活動のおかげだと感ぜている。

#### (4) 食物栄養学科

・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	24 人	80%
非正規	4 人	13.3%
正規及び非正規	2 人	6.7%
合計	30 人	100.0%

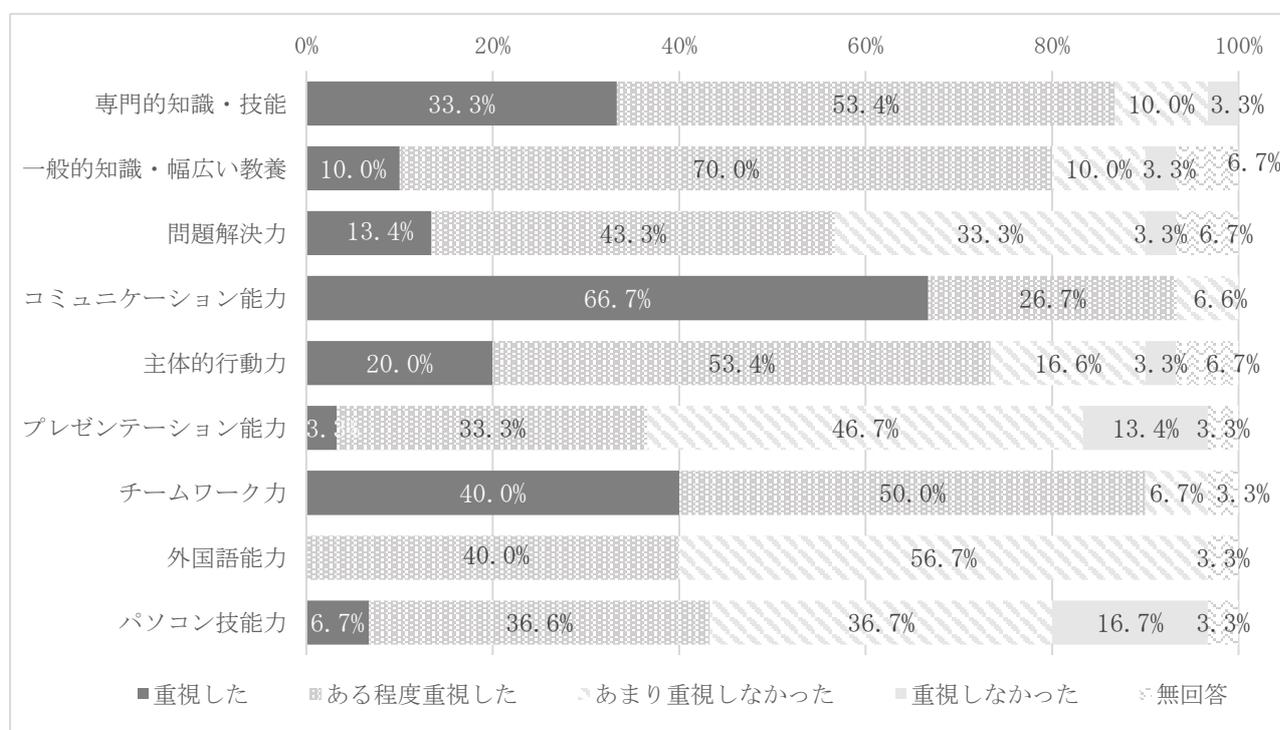
・業種の割合

業種	割合
医療・福祉	60%
卸売業、小売業	3.3%
保育園・幼稚園・こども園	23.4%
宿泊業、飲食サービス業	3.3%
サービス業	6.7%
その他	3.3%
合計	100.0%

・職種の割合【質問 5】

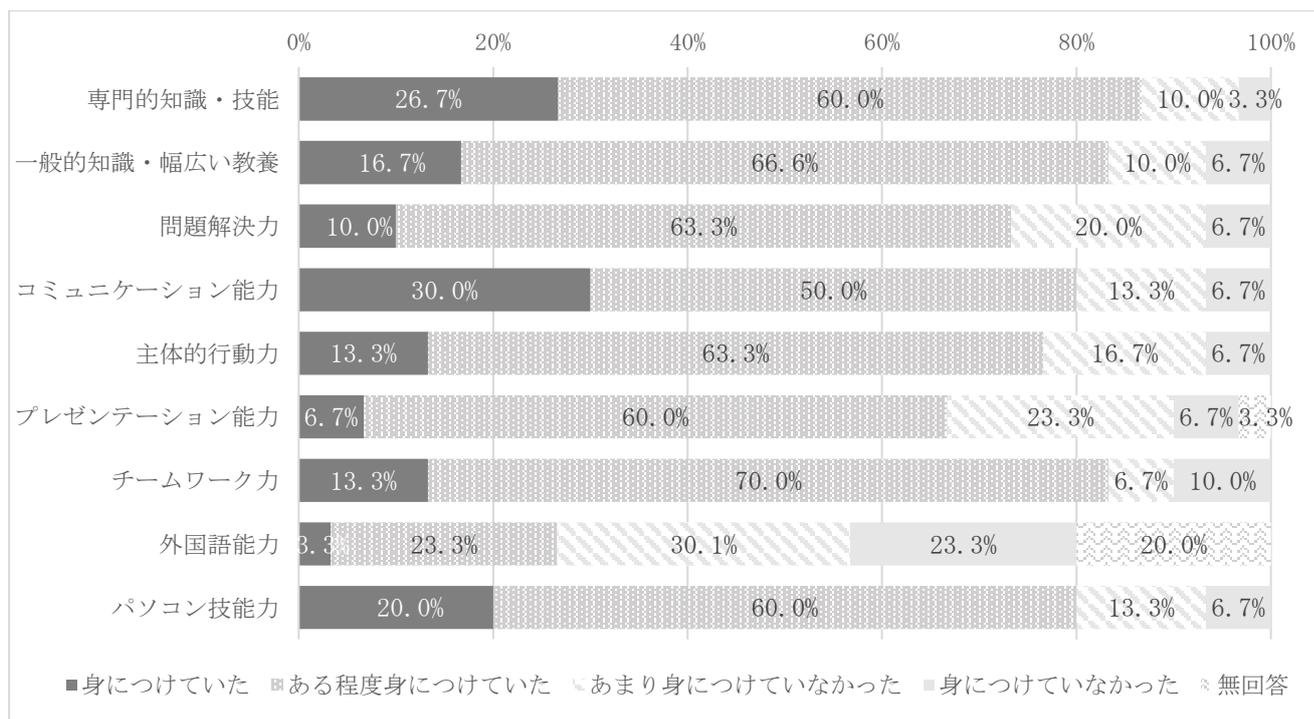
職種	割合
管理栄養士	27.1%
栄養士	56.7%
栄養教諭	5.4%
調理員	5.4%
事務職	2.7%
その他	2.7%
合計	100.0%

【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



その他重視した点: 人間性

【質問 7】本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか



〈上記能力を身に付けていたと感じられる点〉

- ・歯科医院の受付ですが、患者さんと接する上での基本的なコミュニケーション能力は持ち合わせています。ただ、やはりまだ若さがあるため言葉遣いや接遇には少し課題がありますが教育の中で成長が期待出来ます。とても頑張ってくれています。
- ・専門的な知識を業務に活かすことができている。診療所内で患者様も多くバタバタとなりがちですが、コミュニケーションやチームプレイに長けており業務効率の向上に努めている。
- ・教えたことは、素直に聞いて自分から動いてくれています。
- ・専門的知識については食育指導士認定証や食品科学技術認定書、調理師免許等を取得されていたので、給食調理やミーティング等で専門的な技術を発揮してもらえるのではと期待したが、専門的知識や一般的な知識もまだまだこれから学んでいくものかと感じた。
- ・チームでの仕事になるため、コミュニケーション能力が必要とされる仕事ですが、今回採用させて頂いた卒業生は、コミュニケーション能力に長けており、通常の半分の時間で業務を習得できた。

〈上記能力を身に付けていない感じられる点〉

- ・社会人としてどういう立場にあるのかという意識が低いと感じた点は、髪の色を派手目に染めたり・メッシュを入れたりした点。
- ・本人より業務上必要なことでも話しかけることは負担だったとの話があった。
- ・今現状としては、業務内容を覚えるのに時間がかかり、完全に出来るようにならない為、新しい作業の習得にいたらない。コミュニケーション能力に関しては、自ら話すことはなく、相手の言葉をそのまま繰り返し、話が広がらない。確認してから作業をするとミスが減ると伝えているが、確認を怠ることが多いためミスが目立つ。

### 〈意見・要望〉

- 仕事に対して真摯に向き合って真面目に業務を行っている印象。直接本人の仕事ぶりを見る機会はほとんどないので、貴校の卒業生に不足していると感じている訳ではないが、管理栄養士として病院で売り上げを上げるためのノウハウなどを身につけていれば一つの武器になるのではないかと考える。また、口腔機能や嚥下機能など含めて、リハビリテーション専門職との連携は必須になってくると考える。
- 向上心があり、反省、対策、実行と問題解決能力もレベルが高いと感じる。
- 社会人になる意識があれば、どんな仕事でも頑張れると思う。就職がゴールではないので将来の目標、やりたいことをもって入社していただきたいと思っている。
- 就職懇談会を開催いただき、学生の傾向や就職の動向を共有くださり大変ありがたい。今後とも何卒よろしくお願いたします。
- チームで仕事をするため、コミュニケーション能力や協調性等を高めることが望ましいと感じる。
- 貴大学からの就職人数が減少傾向にあるためできるだけ多くの方の紹介をお願いしたい。
- 他の専門職に比べ、圧倒的に実習期間が短い為、即戦力になるまで、時間を要していると感じる。

## (5) 幼児教育学科

### ・雇用形態について【質問 4】

雇用形態	人数	割合
正規	22 人	81.5%
非正規	3 人	11.1%
正規及び非正規	2 人	7.4%
合計	27 人	100.0%

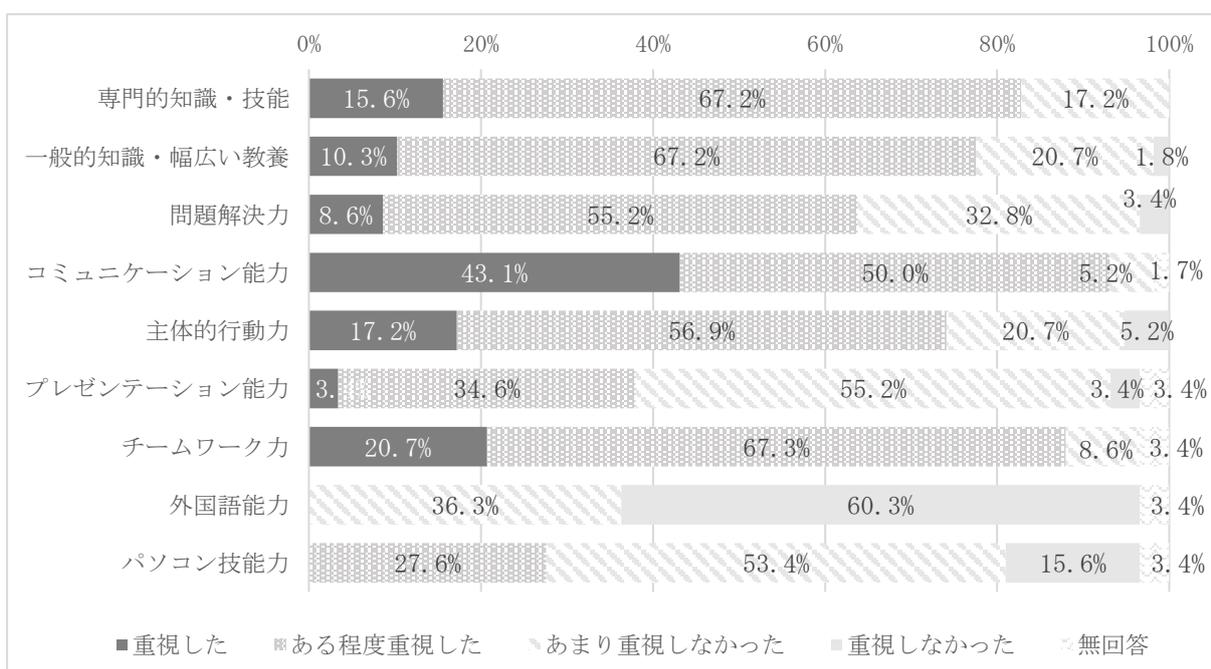
### ・業種の割合

業種	割合
保育園・幼稚園・こども園	100%
合計	100.0%

### ・職種の割合【質問 5】

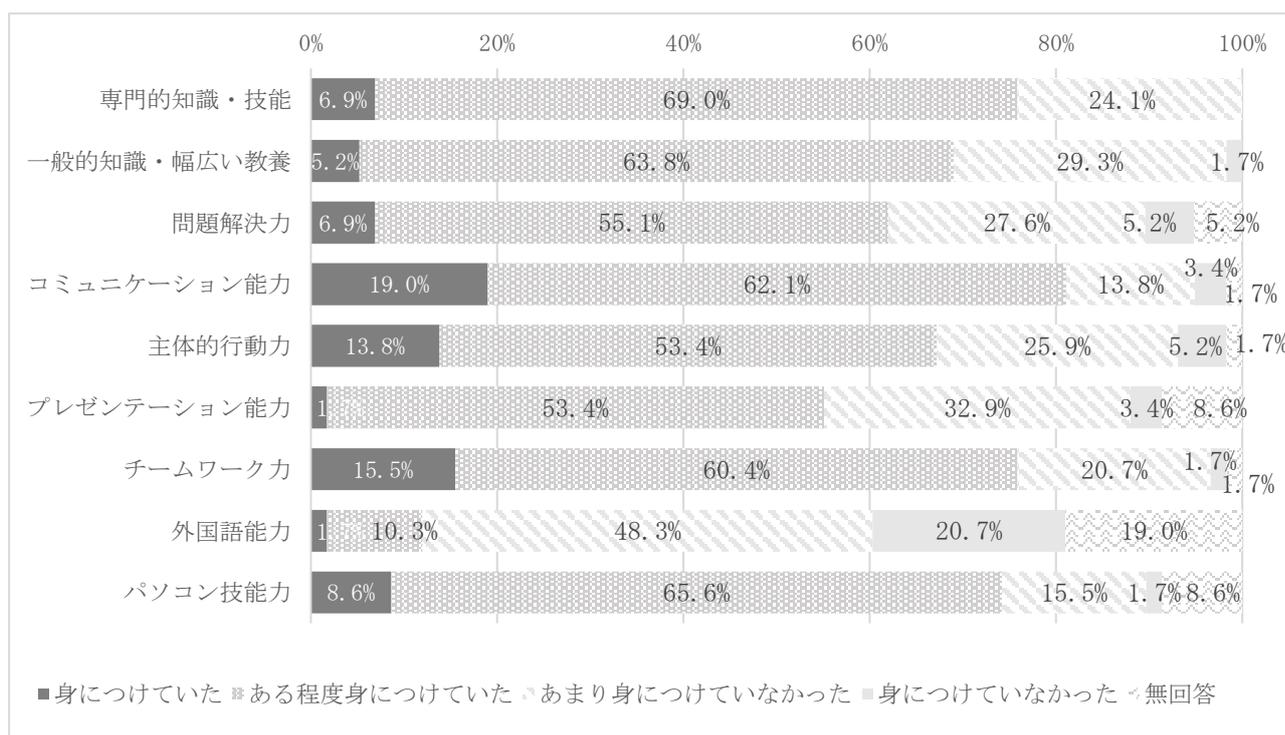
職種	割合
幼稚園教諭	18.8%
保育士	56.2%
保育教諭	25.0%
合計	100.0%

### 【質問 6】採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。



その他重視した能力: 協調性、心身の健康管理、健康・笑顔、自己認知(長所短所や価値観の把握)

【質問 7】 本学の卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか。



〈上記能力を身に付けていたと感じられる点〉

- ・子どもに対する理解。
- ・2名入職されたので、各々良い点がありました。いつもにこやかに誰とでも会話・コミュニケーションされる方、コツコツと努力され周りから信頼される方、両者に共通しているのは、本当に子どものことが大好きなんだなぁと感じる点。
- ・いつも笑顔を決やらず、積極的である。報告連絡相談をよくしており、問題解決に対するポイントを理解している。
- ・ICTを活用しての事務処理や、保育なども、短時間で覚えて実践できている。
- ・専門的知識などは経験を積み重ねて習得していけば良いと思っていたので、そう重視しなかったが、一般の社会的な常識や保育以外の知識など、初めて見聞きする事が殆どで経験不足を実感した。
- ・採用試験として筆記と面接を行った。採用した方については最終的には筆記の成績ではなくご本人の熱意を重視して採用を決めた。
- ・自らの積極的な姿勢。
- ・挨拶、保護者や園児に対する笑顔での対応は身に付けていた。
- ・コミュニケーションに関しては、開園1年目ということもありほとんどの職員が初めて顔をあわせるような環境の中でも一生懸命に関わろうとしてくれていたと感じる。

〈上記能力を身に付けていないと感じられる点〉

- ・保育技術や理解力が低い。保護者対応も難しい。
- ・外国語を話している所を見たことがない。
- ・仕事内容の変化に対応出来なかった。

- ・主体的に行動する姿勢、先輩に学ぼうとする姿勢があまり見られず、何でも「はい」と答えるだけで行動に移すことができていなかった。同僚とのコミュニケーションを取るのも苦手だった。困ったときに相談せずに放置して後で精神的にパンクしたり、周囲にサポートしてもらったにもかかわらず感謝を示さなかったり、パンクの原因を周りのせいにしてしまったりすること等が重なり、サポートする者、指導する者も困惑してしまった。本人はストレスを抱えこみ、度々体調を崩し2年目(令和6年度)の途中で退職となった。
- ・職員間トラブルに繋がる言動があった。
- ・学校で学んだことは、一般常識、幅広い教養として身につけていると思いますが、現場で経験することとは大きく違うと思う。
- ・分からないことは、自分から積極的に先輩や同じクラスの職員に聞く、また挑戦してみるといった『積極性』に欠けることが多いと思う。
- ・物怖じせず、自分の考えや思いを伝えられる能力は大事。
- ・専門的スキルに関しては、身に付けていなかったというよりもこれから経験することで学んでいくものだと思う。目の前にいる子どもに対してひとりひとりに合わせた対応をこれから身に付けていってもらえればと思う。
- ・専門的な知識や経験が求められるため、身に付けることがそもそも難しい。

#### 〈意見・要望〉

- ・専門的分野以外の社会の情勢(新聞に出てくる程度)をおおまかでもいいので理解できれば望ましい。
- ・実習で鍛えられているので日誌などはよく書けていると思う。
- ・本人は一生懸命に頑張っている。しかし、学生時の実習等での様々な経験が少ないため(アルバイトも未経験)、どう対応していいのかわからない場面を多々見ることがある。その都度、現場の先生の指導がっている状況。もちろん、園としては雇用しているため、責任をもって指導はしていかなければならないと思っている。また、本人は2年目ですので、成長段階とも思っている。  
 学生期間の実習の全体数は変わらないと思うが、以前の実習と比べ、様々なことを体験することが少なくなってきた。それは、園側が就職先として選ばれるように、体験させることを少なくしている実態もあると思う。また、園によっては、自由保育の移行したことで、実習生に任せるという場面が少なくなっていることも要因の一つにあると思う。各学校は実習を体験させて卒業させて各園に任せるということではなく(申し訳ありません。違うかもしれませんが、そう見えてしまっている部分も多少はあります。)、貴学として就職する上での保育技術の最低基準を設け、それを達成するための講義や実習となるようにしていただきたい。もちろん、個人個人の能力の差はあると思う。時代の変化とともに、学生の指導についても変化があることは十分に理解しているつもりだが、実習等での様々な大変さや難しさを、終わったときの喜びや充実感に変え、達成感を感じることができる学生を育成してほしいと思っている。教育・保育に携わる関係機関全体で、同じベクトルを持ち考えていかなければいけないと思う。
- ・言葉遣いや協調性など実社会の経験不足が最近顕著に現れている。社会一般のマナーは身に付けていただきたい。
- ・お二方のような方であれば、毎年のように入職していただきたい。
- ・本園には貴大学の卒業生が多く現在18名が在職している。中途退職もほとんど無く、長く勤めている卒業生が多い職場。真面目で保育に情熱を持っている方がほとんど。主幹が4人中3人貴大学卒で、後輩の指導力も高い。

- ・養成校と現場との意識のズレが大きいと感じることが増えた 保育以外の社会的な事柄や常識など幅広く興味を持って欲しい。
- ・資格取得後は出身地での就職をすすめていただきたい。また、備わっている学生もいるが、チームワーク力(チームとして意識して協力する気持ち)の部分を充実させて頂きたい。
- ・幼児教育の現場で働く方には、「対人援助者」「感情労働者」として、さまざまな人と関わる職種であることや自分の心身の健康を保つことが重要であることへの理解をしていただきたいと思う。新採の方は、最初は学ぶことがたくさんあって大変だが、そこを乗り越えていく強さを持って卒業してきてほしいと思う。周りが一生懸命教えようとしても、学ぶ気持ちがなければ身につかないですし、指導されることがストレスになってしまうよう。またどのような職種でも、メインの仕事の周りには、様々な雑務もあり、それも大切な仕事であることも知っていてほしい。就職の前に、そのようなことを学生の皆さんにお話ししていただけたらと思う。
- ・正課の実習では関わる園も限られると思う。実習先は先生が決められる、とも卒業生から聞いた。正課の実習に行くと、思っていたような所じゃなかった、ということもあるので、1年の時から自主実習や見学でもっと学生さんが来てくださるようになるといいし、私は学生の時に卒業した先輩が話をしにきてくれたのを今でも覚えているので、先輩を交えた座談会や出前授業みたいなのを積極的になされると、学生さんの不安が和らぎ希望がふくらむのではないかと。また、今はインスタグラムをやっている保育園が増えています。他大学では、大学の職員さんが大学の公式アカウントから保育園のインスタグラムをフォローして学生に情報が流れていくようにしている、というのを聞いたことがある。そのような時代に即した取り組みも大事だと思う。
- ・入職して学んでいくことが多いと思うので、何事にも積極的に取り組む、「やってみよう」という姿が第一だと考える。実習に来る際に、何か一つでも自分で目標を設定して実習に臨んでもらうと達成感や「楽しかった」という満足感と次に繋がるように思う。
- ・学生それぞれですが自分から発信する力をもっと身につけておくと就職した時にもコミュニケーションや仕事の面でもスムーズになるかと思う。
- ・自らの保育観を広め、高めるために多くの園を実際に見て体感してほしい。
- ・就職後2ヶ月で、クラス他の職員を無視し、『ここでは私の理想の保育が出来ない』といい退職された。私達に至らないところがあったのかもしれませんが、配慮すべきところが足りなかったかもしれません。私達も話し合い、このようなことが無いように努めたいと思う。しかし、就職して2ヶ月で、何も分からない状態で言っていることでは無いと思っている。これまで保育園で働いてきた職員さん、今働いている職員さん、うちが良いと言って来てくれる子どもたち、保護者の皆さんに対して失礼な言葉であった。私達も精進しますが、このような事が他の園で起こらないように。少しでも減るように生徒の皆さんにお伝えいただけたら幸いです。今後とも宜しくお願い致します。
- ・専門的な知識、技能も大切ですがそれだけでは働くことの大変さを乗り越えてはいけないと思う。何事も経験として学び続けることのできる課題意識や自分事として捉えることのできる参画意識を高めていけると良いと思う。他にも働く上で休まないということは大きな評価点である。規則正しい生活を送り毎日休まずに勤務できる健康な身体の維持も重要かと思う。
- ・専門的な知識や座学の勉強よりも実習などの実践や社会人としての基本的なモラルやマナー、職業に対する責任感や意欲を育むような授業などをお願いしたい。
- ・貴大学については、保育士や栄養士として多く入職していただき、たいへん感謝している。強いて言うならば、自らの人生に対する勤労というものの捉え方といいますか、やはり長く勤めることの大事さのようなものを持っていただくとありがたいと思っている。(大学教育の範疇ではないかもしれませんが)

- 働き手が不足している時代において、即戦力は必要かもしれないが、チーム力(協調性)や対話力がある人材を本園は重視する。
- 全般的に言える事は、どこの養成校卒業だから良い悪いではなく、個人差が非常に大きいという事と、成績だけではなく人柄や素直さなど、働き出してみないとわからないことが多い。

## 尚絅大学・尚絅大学短期大学部卒業生の 就職先に対するアンケート

尚絅大学・尚絅大学短期大学部  
学長 山縣 ゆり子

このアンケートは、本学卒業生（令和4年3月卒業）を採用いただいた事業所の皆様に、採用にあたり重視した能力や採用後の本学卒業生の能力を評価していただくことにより、本学における教育の質の向上を図るための参考とするものです。

回答いただける範囲で構いませんので、調査にご協力くださいますようお願いいたします。  
ご回答後は、返信用封筒にてご郵送ください。メールやFAXでの返信も受付けております。

**ご回答期限：令和6年1月31日（水）**

送信先メールアドレス：kikaku@shokei-gakuen.ac.jp

FAX: 096-363-2975

- ※ 本アンケートで評価いただく対象は、**令和4年3月に本学を卒業**し、令和4年4月から令和5年3月までに貴事業所で採用いただいた本学卒業生です。
- ※ できる限り「人事・採用」のご担当者様が回答くださいますようお願いいたします。
- ※ 回答は統計的に処理しますので、事業所名等が特定されることはありません。
- ※ 調査結果は、本学の教育の質の向上を図るための参考として使用します。

<アンケートに関するお問い合わせ先>  
尚絅大学・尚絅大学短期大学部  
大学企画室  
TEL: 096-362-2011  
E-mail: kikaku@shokei-gakuen.ac.jp



質問5. 本学卒業生の職種について、該当するもの全てに○をつけてください。

1	幼稚園教諭	2	栄養教諭	3	中学校教員	4	高等学校教員
5	司書教諭	6	司書	7	管理栄養士	8	栄養士
9	調理員	10	保育士	11	保育教諭	12	支援員
13	福祉職	14	事務職	15	営業・販売職	16	食品衛生管理者
17	サービス職業従事者（接客業）			18	その他（ ）		

質問6. 採用にあたり、以下の能力についてどの程度重視されましたか。該当する番号に○をつけてください。

		重視した	ある程度重視した	あまり重視しなかった	重視しなかった
1	専門的知識・技能	1	2	3	4
2	一般的知識・幅広い教養	1	2	3	4
3	問題解決力	1	2	3	4
4	コミュニケーション能力	1	2	3	4
5	主体的行動力	1	2	3	4
6	プレゼンテーション能力	1	2	3	4
7	チームワーク力	1	2	3	4
8	外国語能力	1	2	3	4
9	パソコン技能力	1	2	3	4
10	その他（ ）	1	2	3	4

質問7. 本学卒業生は、以下の能力を身に付けていましたか。全ての能力に対して該当する番号に○をつけてください。なお、複数名採用いただいている場合は、総合的に評価してください。

※「10」の空欄には、質問6の「10.その他」で回答いただいた項目をご記入の上、評価してください。

		身に付けていた	ある程度身に付けていた	あまり身に付けていなかった	身に付けていなかった
1	専門的知識・技能	1	2	3	4
2	一般的知識・幅広い教養	1	2	3	4
3	問題解決力	1	2	3	4
4	コミュニケーション能力	1	2	3	4
5	主体的行動力	1	2	3	4
6	プレゼンテーション能力	1	2	3	4
7	チームワーク力	1	2	3	4
8	外国語能力	1	2	3	4
9	パソコンの技能力	1	2	3	4
10		1	2	3	4

※「身に付けていた」又は「身に付けていなかった」と感じられた点を具体的にお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

質問8. 本学が卒業生に対してどのような能力を充実させるのが望ましいか、本学卒業生及び就職支援活動などについてどのように感じておられるのかご意見等ございましたらお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。